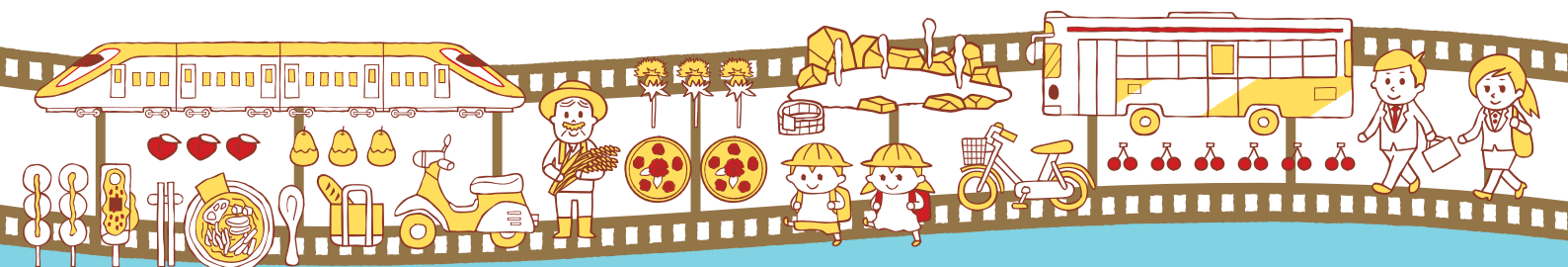


山形広域都市圏 パーソントリップ 調査報告書



現況集計・現況分析編

平成31年 3月
2019年

山形市

目 次

1 調査の概要と現況分析の全体構成

(1) 調査目的	1
(2) 調査体制	2
(3) 調査スケジュール	6
(4) 調査対象地域	7
(5) 平成29年度実態調査の結果概要	8
(6) 現況分析の全体構成	9
ア 山形広域都市圏における人口、市街地などの概況	9
イ パーソントリップ調査データの現況集計	9
ウ パーソントリップ調査データの現況分析	9
(7) 関係部局との連携	10
ア 山形市庁内各課との連携	10
イ 仙台都市圏との連携	10

2 山形広域都市圏における人口、市街地などの概況

(1) 山形県における県都としての位置づけ	11
(2) 山形広域都市圏の人口および世帯の動向	12
ア 人口の推移と将来見通し	12
イ 人口の地域分布	13
ウ 山形市における世帯数の変化	14
エ 山形市における世帯の地域分布	15
オ 山形市の就業人口・従業人口の動向	16
(3) 市街地の動向	17
(4) 施設立地の動向	18
(5) 交通施設の状況	21
ア 主要渋滞ポイント（道路）	21
イ 鉄道	22
ウ 路線バス	23
(6) 公共交通の人口カバー圏	24
(7) まとめ	25

3 現況集計

(1) 現況集計の方針	26
ア トリップの概念	26
イ パーソントリップ調査における精度と誤差の考え方	27
ウ 集計カテゴリ	29
エ 現況集計項目一覧	35
オ 用語説明	37
(2) 現況集計結果の整理	39
ア 総トリップ数	40
イ 性別・年齢階層別の交通特性	41
ウ 目的種別別の交通特性	48
エ 手段別の交通特性	52
オ 地域別の交通特性	62
カ まとめ	76

4 現況分析

(1) 現況分析の構成	77
ア 暮らしに係る分析	77
イ 都市構造	78
ウ 山形市発展計画	79
(2) 暮らしに係る分析	81
ア 個人・世帯・住まい方	81
イ 自動車社会	99
ウ 自転車利用	116
エ 休日交通	122
オ 滞留人口	126
カ まとめ	129
(3) 都市構造に係る分析	130
ア 中心市街地	130
イ 郊外の拠点	138
ウ 集落部	146
エ ネットワーク	149
オ まとめ	164
(4) 山形市発展計画に係る分析	165
ア 仙山連携	165
イ 健康・医療	174
ウ 定住人口・交流人口	186
エ まとめ	192

1 調査の概要と現況分析の全体構成

(1) 調査目的

山形市では、平成27年度に「山形市発展計画」を策定し、「定住人口・交流人口の拡大」、「健康と医療を核とした都市ブランドの確立」、「山形市特有の個性、魅力を活かしたまちづくり」と、3つの基本方針が示されています。また、平成29年3月には「山形市都市計画マスタープラン」が見直され、拠点ネットワーク型集積都市を将来都市像として掲げています。今後、山形市都市計画マスタープランをさらに発展させ、平成32年度を目標として立地適正化計画を策定する予定になっており、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」という考え方に基づいた土地利用と交通のあり方を考えて、持続性のある住みよいまちづくりを検討していきます。さらに、山形市は平成31年4月の中核市への移行にあわせ、村山地方の中核都市（連携中核都市圏）としての発展を目指しています。

これらの実現に向けて、客観的な視点から政策の検討を行うためには、都市内の人の移動や土地利用に関する基礎データの整備が必要です。しかし、山形県内ではこれまで自動車交通量調査などの調査は行われてきましたが、「山形はクルマ社会である」と思われてきたこともあり、交通実態や土地利用を総合的に把握することのできるパーソントリップ調査が過去に行われてきませんでした。

そこで山形市では、天童市・上山市・山辺町・中山町の5市町で構成される山形広域都市圏を調査圏域とし、山形県内で初めて行われるパーソントリップ調査を行うことにし、平成29年度に実態調査を行いました。

調査圏域の住民基本台帳から4世帯に1世帯の割合で無作為抽出を行い、調査対象に選ばれた世帯に対し、平成29年10月から11月にかけて調査票を配布しました。調査内容は、世帯構成、居住や就業就学状況、平日と休日それぞれの移動状況等を回答するアンケート調査になっています。平成27年国勢調査に基づく圏域5歳以上人口約35万9千人のうち、約2万3千人から有効回答を得ました。

平成30年度は、平成29年度に実施した実態調査で得られたデータを集計・分析し、山形広域都市圏の交通実態を把握しました。

(2) 調査体制

パーソントリップ調査は山形市が実施主体となる調査のため、庁内検討会議を軸として進めるものとし、他の関係機関や学識経験者とも情報共有を図ることのできる体制で推進していきます。

協議会は、公共交通事業者や交通・道路管理者、関係行政庁などのメンバーで構成され、関係機関における情報共有や連絡調整を行います。

庁内検討会議は、パーソントリップ調査の成果を最大限に活用するために、様々な分野の山形市組織の部長及び課長で構成され、庁内の調整を行い、協議会に報告すべき事項について調査検討を行います。

調整会議は、関係市町との連絡調整を行います。

技術会議は、学識経験者で構成され、調査に対し専門的な視点からの助言と提案を受け、調査の検討を行います。

事務局は、山形市まちづくり推進部都市政策課に設置します。

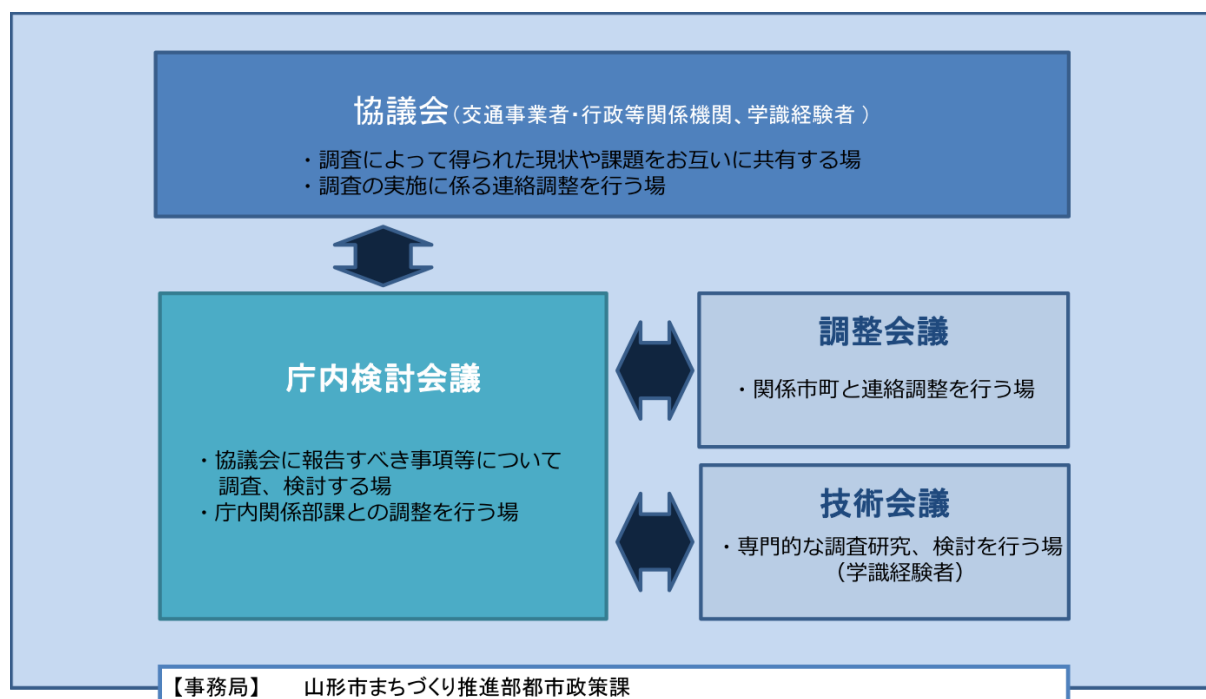


図 調査に関する会議の体制

表 パーソントリップ調査推進協議会（平成30年度）

	所 属	役 職	氏 名
会長	山形市	まちづくり推進部長	渋谷 誠一
副会長	山形市	都市政策調整監	大場 義行
委員	東日本旅客鉄道株式会社仙台支社	企画部長	島兎 伸次
委員	一般社団法人山形県バス協会	専務理事	小関 和夫
委員	一般社団法人山形県ハイヤー協会	専務理事	鈴木 信幸
委員	山形県ハイヤー・タクシー協会	会長	那須 尚平
委員	山形商工会議所	地域振興課長	村山 きみ
委員	東日本高速道路株式会社 東北支社山形管理事務所	所長	皆川 和明
委員	国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所	調査第二課長	河本 直志
委員	山形県村山総合支庁建設部	道路課長	阿部 真一
委員	山形警察署	交通第一課長	山村 浩志
委員	東北芸術工科大学	教授	吉田 朗
委員	山形大学	助教	高澤 由美
委員	山形市	企画調整部 企画調整課長	伊藤 尚之
委員	山形市	まちづくり推進部 都市政策課長	渡邊 俊
委員	山形市	まちづくり推進部 道路維持課長	伊藤 林也

表 庁内検討会議（平成30年度）

所 属	役 職	氏 名
山形市	まちづくり推進部長	渋谷 誠一
山形市	都市政策調整監	大場 義行
山形市	総務部長	庄司 新一
山形市	企画調整部長	伊藤 浩之
山形市	環境部長	松田 和巳
山形市	福祉推進部長	小野 徹
山形市	子育て推進部長	鈴木 悦子
山形市	商工観光部長	山口 範夫
山形市	農林部長	櫻井 浩
山形市	教育部長	阿部 謙一
山形市	総務部 防災対策課長	花輪 信二
山形市	企画調整部 企画調整課長	伊藤 尚之
山形市	環境部 環境課長	西塔 浩人
山形市	福祉推進部 長寿支援課長	柳 史生
山形市	福祉推進部 障がい福祉課長	三條 恵美
山形市	子育て推進部 こども保育課長	荒木 秀一
山形市	商工観光部 山形ブランド推進課長	斉藤 周志
山形市	商工観光部 観光戦略課長	青木 哲志
山形市	農林部 農政課長	吉原 仁
山形市	まちづくり推進部 都市政策課長	渡邊 俊
山形市	まちづくり推進部 河川道路整備課長	丹野 善彦
山形市	まちづくり推進部 道路維持課長	伊藤 林也
山形市	教育委員会 管理課長	高橋 勇
山形市	教育委員会 学校教育課長	金沢 智也
山形市	教育委員会 スポーツ保健課長	佐藤 泉

表 調整会議（平成30年度）

所 属	役 職	氏 名
山形市	都市政策課長	渡邊 俊
天童市	都市計画課長	軽部 正彦
山辺町	建設課長	高橋 新也
中山町	建設課長	秋葉 政則

表 技術会議（平成30年度）

所 属	役 職	氏 名
東北芸術工科大学	教授	吉田 朗
山形大学	助教	高澤 由美
山形市	まちづくり推進部 都市政策課長	渡邊 俊

表 事務局（平成30年度）

所 属	役 職	氏 名
山形市	まちづくり推進部 都市政策課 課長補佐	浅井 幹太
山形市	まちづくり推進部 都市政策課 係長	宮城 友嘉
山形市	まちづくり推進部 都市政策課 主査	尾形 秀史
山形市	まちづくり推進部 都市政策課 主査	軽部 隆征
山形市	まちづくり推進部 都市政策課 主査	鈴木 暁子
山形市	まちづくり推進部 都市政策課 主査	岡崎 吉宏
山形市	まちづくり推進部 都市政策課 主事	阿部 さくら
山形市	まちづくり推進部 都市政策課 主事	佐藤 翔人

(3) 調査スケジュール

山形広域都市圏パーソントリップ調査は、平成28年度から平成30年度の3年間で調査期間として行われます。

平成28年度(0年目)	企画・準備
平成29年度(1年目)	実態調査実施
平成30年度(2年目)	現況集計・現況分析

表 平成30年度のスケジュール

平成30年度	6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
分析方針検討			●	●	●																	
山形広域都市圏の概況整理											●	●	●									
現況集計				●	●	●	●	●														
現況分析							●	●	●	●	●	●	●	●	●							
問題・課題の整理														●	●	●	●	●				
報告書のとりまとめ																●	●	●	●	●	●	●
現況配分シミュレーション							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
協議会(3月29日)																						●
庁内検討会議(9月7日、12月14日、1月28日)							●							●			●					
調整会議(3月29日)																						●
技術会議(8月28日、12月19日)						●								●								
庁内各課へのヒアリング(10月22日~24日)										●												

平成30年度の現況集計・現況分析は、山形広域都市圏パーソントリップ調査の調査実施主体である「山形市まちづくり推進部都市政策課」が「一般財団法人計量計画研究所」に業務委託して実施しました。

(4) 調査対象地域

山形広域都市圏パーソントリップ調査は、山形市、天童市、上山市、中山町、山辺町の5市町で実施しました。

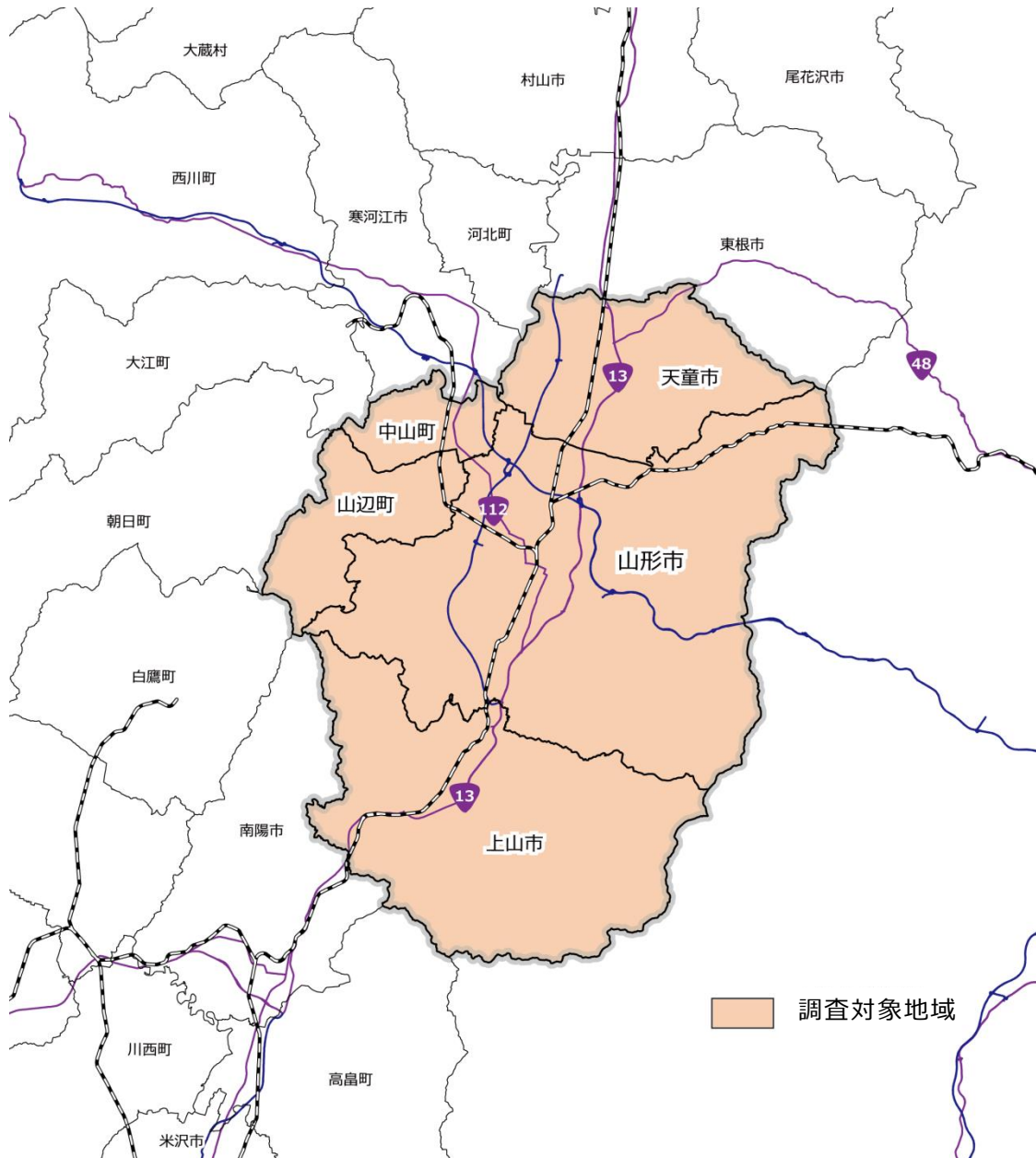


図 調査対象地域

(5) 平成29年度実態調査の結果概要

平成29年の実態調査は、10月から11月にかけて実施しました。

調査方法は、紙の調査票を調査対象世帯に郵送し、記入した調査票を郵送で回収する方法と併せて、紙の調査票と同じ内容をインターネットから回答できる、郵送・Web併用方式としました。

平成27年国勢調査に基づく山形広域都市圏（5市町）の世帯数140,292世帯のうち、35,639世帯に調査票を郵送しました。そのうち、集計分析に活用可能なデータとして、9,634世帯、23,100人分のデータが得られました。

<平成29年度の実態調査の結果概要>

■都市圏の世帯数、5歳以上人口

- | | | |
|------------------|---|-----------|
| ・都市圏（5市町）の世帯数 | : | 140,292世帯 |
| ・都市圏（5市町）の5歳以上人口 | : | 358,606人 |

※平成27年国勢調査より

■調査設計

- | | | |
|------------|---|--|
| ・目標抽出率 | : | <u>6.1%</u> |
| ・目標回収数（世帯） | : | <u>8,500</u> 世帯 |
| ・目標回収数（個人） | : | <u>21,900</u> 人 |
| ・想定回収率 | : | <u>25%</u> |
| ・調査対象世帯数 | : | <u>34,200</u> 世帯（目標回収世帯数／想定回収率） |
| ・調査対象個人数 | : | <u>87,600</u> 人（5歳以上）
（目標回収個人数／想定回収率） |

■調査結果

- | | | | |
|---------------|---|------------------|-----------|
| ・調査票発送数（世帯） | : | 35,639世帯 | ※予備ロットを含む |
| ・回収数（世帯） | : | <u>10,534</u> 世帯 | |
| ・回収数（個人） | : | 25,391人 | ※概数 |
| ・回収率（世帯ベース） | : | <u>29.6%</u> | |
| ・Web回答率 | : | <u>14.1%</u> | |
| ・有効回収数（世帯） | : | <u>9,634</u> 世帯 | |
| ・有効回収数（個人） | : | <u>23,100</u> 人 | |
| ・有効回収率（世帯ベース） | : | <u>27.0%</u> | |
| ・有効票の抽出率 | : | <u>6.55%</u> | |

(6) 現況分析の全体構成

平成30年度は、平成29年度に実施した実態調査で得られたデータに基づいて、山形広域都市圏の交通の実態を明らかにするための分析を行いました。現況分析の全体構成は、大まかに3つの項目に分けられます。

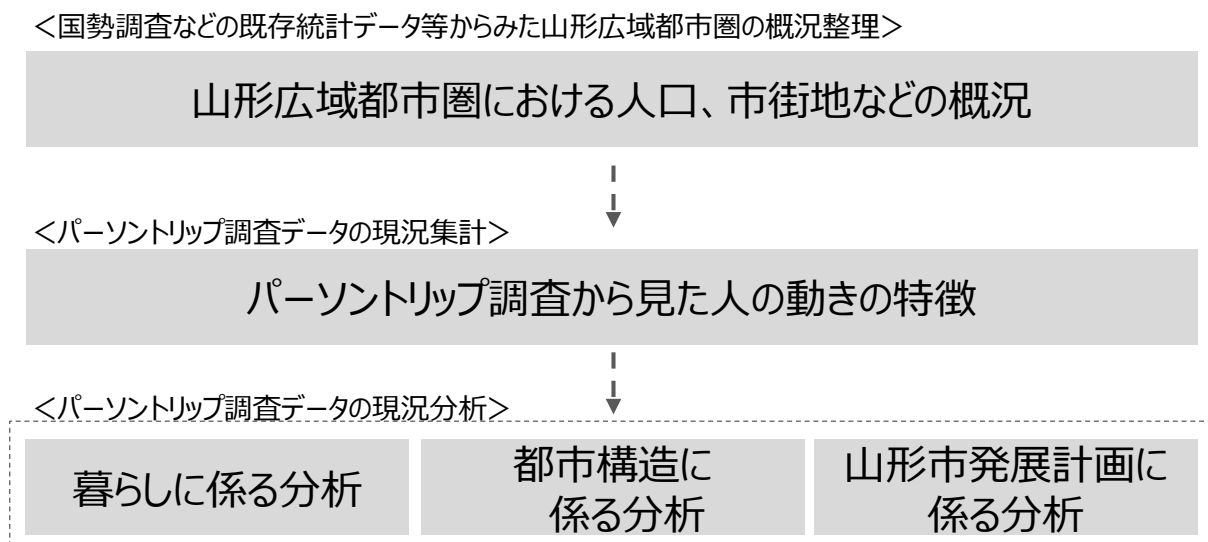


図 現況分析の全体構成

ア 山形広域都市圏における人口、市街地などの概況

パーソントリップ調査のデータを用いた分析に先立ち、既往の統計データなどから、山形広域都市圏の人口や世帯、市街地や交通施設の概況についてまとめました。

イ パーソントリップ調査データの現況集計

現況集計は、パーソントリップ調査のデータを用いて、人の移動からみた山形広域都市圏の交通の基本的な特徴を明らかにするために行いました。

ウ パーソントリップ調査データの現況分析

現況集計の結果を踏まえ、パーソントリップ調査のデータに加えて、その他の関連データも活用しながら、都市・交通の問題・課題の把握に向けた詳細の分析を行いました。

近年の社会動向や山形市の上位計画・関連計画を踏まえ「暮らしに係る分析」「都市構造に係る分析」「山形市発展計画に係る分析」の3つのテーマから現況分析を行いました。

(7) 関係部局との連携

ア 山形市庁内各課との連携

パーソントリップ調査の集計・分析を行うにあたり、現況集計・現況分析の方針を山形市庁内の各部課へ共有しました。その内容に基づき、パーソントリップ調査から把握したい内容や、具体的な集計・分析に対する要望を各部課から聴取しながら集計・分析を進めました。

イ 仙台都市圏との連携

仙台都市圏では、同じく平成29年度にパーソントリップ調査の実態調査を実施しています。山形広域都市圏では、調査項目の大半を仙台都市圏パーソントリップ調査と同一に設定したうえで、仙台都市圏と同じスケジュールで調査を実施しました。

両都市圏における基本的なトリップの特性や、お互いの都市圏を行き来するトリップの特性に関する集計結果を共有し、比較を行いました。